

# 長野県青少年赤十字加盟校活動助成金交付要綱

## （目的）

第1条 この要綱は、青少年赤十字活動の充実を図り、加盟校における活動を推進させることを目的に、予算の範囲内で青少年赤十字加盟校活動助成金（以下「助成金」という。）を交付する。

## （対象事業）

第2条 助成金対象事業は、次のとおりとする。

- 1 助成金の交付日から翌年2月末日までの間に実施する事業とする。
- 2 対象事業は、児童・生徒が赤十字精神に基づき、青少年赤十字の学習を行うに要するものとする。
  - ア 健康・安全に関する事業
  - イ 奉仕に関する事業
  - ウ 国際理解・親善に関する事業

## （助成金額）

第3条 助成金の額は、年額20,000円を限度とする。

## （交付申請）

第4条 助成金の交付申請をしようとする青少年赤十字加盟学校長（以下「加盟学校長」という。）は、5月末日までに助成金交付申請書（様式第1号）により日本赤十字社長野県支部長（以下「支部長」という。）に提出しなければならない。ただし、当該年度に新規登録のあった加盟校については、この限りでない。

## （交付決定及び交付）

第5条 支部長は、第4条の助成金交付申請書の提出について、内容を審査のうえ助成金を交付することが適当であると認めるときは、助成金交付額を決定し、6月末日までに加盟学校長に通知し、交付するものとする。ただし、当該年度に新規登録のあった加盟校については、申請月の翌月末までに加盟学校長に通知し、交付するものとする。

## （報告及び精算）

第6条 加盟学校長は、翌年3月末日までに助成金報告書（様式第2号）を支部長に提出するとともに、精算の結果、余剰金が生じた場合は同日までに支部長に返納するものとする。

(関係書類の整備)

第7条 加盟学校長は、助成金の収支に関する関係書類を整備・保管し、事業完了年度の翌年から3年間保管しなければならない。また、支部長は必要に応じ加盟学校長に対して、事業の実施状況についての報告を求め、調査できるものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めのない事項については、支部長が別に定めるものとする。

附則 この要綱は、平成20年5月1日から施行する。

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

(様式第 1 号)

年 月 日

日本赤十字社長野県支部長 あて

学校名

学校長名

長野県青少年赤十字加盟校活動助成金交付申請書

標記について下記のとおり申請します。

記

1. 助成金申請額 \_\_\_\_\_ 円

2. 添付書類

事業計画書及び助成金振込先（別紙のとおり）

## 事業計画書及び助成金振込先

## 1. 事業計画書

学校名					
住 所		〒      ー			
担当教職員者		ふりがな			
		氏 名			
		電話番号			
		E - mail			
事業名		主な内容	予算額 (円)	所要額 (円)	対象者数 (うち教職員)
例	健康・安全に関する事業 (防災教育授業)	教材費	20,000	20,000	100 人 (3 人)

## 2. 助成金振込先

金融機関名		
支店名	支店	
預金種別	普通預金	・ 当座預金
口座番号		
ふりがな		
口座名義人		

(様式第 2 号)

年 月 日

日本赤十字社長野県支部長 あて

学校名

学校長名

長野県青少年赤十字加盟校活動助成金報告書

標記について下記のとおり報告します。

記

1. 助成金精算額 \_\_\_\_\_ 円

2. 添付書類

事業報告書及び精算（別紙のとおり）

## 事業報告書及び精算

## 1. 事業報告書

学校名				
住 所		〒      —		
担当教職員者		ふりがな		
		氏 名		
		電話番号		
		E - mail		
事業名		主な内容	支出額（円）	備考
例	健康・安全に関する事業 (防災教育授業)	教材費	20,000	
年間を通じた青少年赤十字活動（主なる活動写真を添付してください）				
例) ①加盟登録式 ②トレセン参加の生徒会役員が中心となった、朝の挨拶運動の実施 ③日赤の講師による体験型防災プログラムの実施 ④災害募金活動 ⑤地域の清掃活動				

## 2. 助成金精算書

(1) 交付額 \_\_\_\_\_ 円

(2) 精算額 \_\_\_\_\_ 円

(3) 返納額 \_\_\_\_\_ 円

(4) 返納日（銀行振込日）          月          日